

2021年度
事業報告(案)

2021年度 木の実会事業報告 (案)

幼保連携型認定こども園に移行して1年目となった本年は、新たな取組や制度の理解に注力した一年となった。これに伴い、様々な事務のデジタル化を目標に、実際にデジタル機器及びアプリケーションを導入し、現場の省力化につながっている。

また、コロナ禍3年目となり、すべてがwithコロナを意識した対応を余儀なくされた。行事予定も感染状況にその都度左右され、かわらず難しい判断が必要となる局面が多く、業務遂行に苦慮した。

役員会について、5回のうち2回は決議を省略しての開催とした。感染状況によりやむを得ない判断であったが、今後は状況を見ながら感染対策をしっかりと講じ、できうる限り決議の省略はせずに実施したい。

決算について、3拠点とも保育所からこども園へ移行後初年度の影響があり、入所児童数が前年度比で延160名(1月当たり約14名)あまり減員となった。しかし、施設型給付費単価は上がっているため、スケールメリットの恩恵を受けやすい西部拠点・北拠点は収入額としては増額に転じている。定員数が小さい木の実拠点でも、それほど大きな減収にはならず済んだ。また、処遇改善加算額の増に対応し、人件費も増となった。

木の実北こども園園舎保全計画について、2021年度第4回理事会において(株)鈴木建築設計事務所に委託することが承認され、契約締結後、具体的に進めていく予定である。

1. 実施事業

- (1) 理事会 計4回
 - 第1回 2021年 5月31日 (決議の省略)
 - 第2回 2021年 6月18日
 - 第3回 2021年11月29日
 - 第4回 2022年 3月31日 (決議の省略)
- (2) 評議員会 計1回
 - 第1回 2021年 6月18日
- (3) 役員懇親会
中止

2. 役員人事

- (1) 理事 定員6名・現員6名（新任1名）
- (2) 監事 定員2名・現員2名（新任1名）
- (3) 評議員 定員7名・現員7名

3. 採用・退職

- (1) 繰入採用者 0名
- (2) 新規採用者 2名（正規1名・時給臨時1名）
*年度途中採用者含む
- (3) 退職者 6名（正規1名・月給臨時2名・時給臨時3名）

4. 産前産後休暇・育児休業取得状況

- (1) 産前産後休暇取得者 1名（前年度10名）
- (2) 育児休業取得者 6名（前年度15名）

5. 職員処遇改善

- (1) 臨時職員から正規職員への繰入制度（希望者なし）
- (2) 育児短時間・介護短時間勤務の推奨（取得者1名）

2021年度 木の実こども園事業報告 (案)

1. 総括

コロナ感染防止対策を行いながらの保育も2年が経過した。そのような中でも、春夏秋冬の季節の移り変わりを感じながら、五感を沢山働かせて遊べる室内外での環境や、子ども一人一人が主体的に生活できるような生活環境を整えていけるように心掛けた。今後も、子どもの姿をベースとした話し合いを行い、環境作りの見直しや保育の計画、実践を積み重ねていきたいと考える。

2020年度には実施を見送ったり、以上児クラスのみで行ってきた夏祭りや運動会などの保護者参加の行事に関しても、参加人数や時間差を上手く活用しながら実施することができた。中でも、コロナ禍でもできる取り組みとして考えたクラスごとの親子行事に関してはとても好評だったため、次年度も継続していきたい。また、バスを利用しての園外保育やお泊り保育、クッキングなど、園児のみの行事に関しても、コロナの感染状況を見ながら無理なく行い、ほぼ計画通りに実施できた。

保護者が濃厚接触者になることも数件あり、卒園式に参加できなくなったケースもあった。そのため、オンラインを活用しながら遠隔での式への参加を試み、後日、保護者に参加して頂いての写真撮影や証書授与の機会を設け、園生活最後の思い出を残していけるように心がけた。

2. 保育実践の取り組み

教育・保育テーマを〈子どもの主体性と保育環境を考える〉～こども園としての新たな学び～とし、外部講師より研修、講演を行ってもらいながら環境作りについて学び実践に繋げたり、新たに計画した全体的な計画・年間指導計画のもと、月々のカリキュラムを立案した。心と体の発達と遊びの連続性を考えながら環境を構成し、より遊びが豊かに、また学びへと繋がっていくように見直していった。

(1) 0・1・2歳児の保育

- ① 3歳未満児は一人一人の生理的欲求が十分に満たされるように、保育教諭と子どもとの信頼関係を丁寧に築き、～よく飲み、よく食べ、よく遊び、よく眠る～一人一人の生活づくりを第一に心掛けた。
- ② 絵本やわらべうたなど、生の声で語り掛けることを大切にし、心地よいリズムが情緒の安定に繋がり、発語や言葉の獲得に大切な役割があることを家庭にも発信し、家庭と共に楽しんでいった。
- ③ 子ども一人一人が安心できる環境の中で、自由に探索し、「あれは何だろう?」「触ってみたい」と心が動かされる姿や場面を大切に見守り、保育教諭も共に関わる中で、探究心の芽生えに寄り添っていった。その中で手指を使った遊びを十分に行って発達を促したり、子どもが見つけたいはずらを遊びに変えたりしながら好奇心を豊かに育てていけるようにした。

(2) 3・4・5歳児の保育

- ① 3歳児クラスで前期に行っていた女兒のごっこ遊びが、中期にはクラス全体でのお店屋さんごっこへ、後期には4・5歳児も加わって、異年齢で役割を交換しながら行うお店屋さん遊びへと発展していった。異年齢で交流しながら遊ぶことで、廃材を利用し遊びの中で必要な物を作るなど、更に遊びが広がりをみせた。子ども達の関わりの中から遊びが生まれ、膨らみ、繋がっていく貴重な経験から、遊びの連続性の大切さを実感した。
- ② 異年齢児の交流は、交流の日を改めて設けなくても日常的に行われており、遊びだけでなく、赤ちゃんを抱っこしたり、寝かしつけをしてくれる姿にも繋がっている。0・1・2歳児もお兄ちゃん、お姉ちゃんから来てもらうことを心待ちにしており、こど

も園という大きなお家で家族のように生活している。

- ③ 豊かな感性や表現力を養う活動として、リズムあそびや言葉あそび、造形活動などを取り入れてきた。外部講師を招いて、造形活動を保護者と一緒に体験する活動も実施し、親子で楽しさを共有する中で様々な表現方法を知らせることができたことも実り大きい。
- ④ 秋頃より、外部講師を招いての動きづくり教室を実施した。職員も、様々な体の使い方や指導方法を活動の中で学ぶことができ、年齢に合わせた指導方法や、体幹が弱く姿勢が保てない子、体使いが難しい子へのアプローチ方法、また新型コロナウイルス流行で活動が制限されている子ども達の活動量の低下の懸念に対しての遊びの方法を知る良い機会となった。今後も続けていく中で、子ども達の体づくりに生かしていきたい。

(3) 行事实施状況

月	行事
毎月	・避難訓練・身体測定・調理室検便・安全点検・誕生会
4	・辞令交付・お花見散歩・五月人形飾り・富神山登山(5歳児)・苗植え(西部農園・5歳児)
5	・母の日お店屋さんごっこ(カーネーションプレゼント)・さつまいも苗植え(西部農園・4歳児)・保護者会総会、親子レクリエーション(2部制・全園児)
6	・親子みそ作り体験(3.4.5歳児)・内科検診・歯科検診・心肺蘇生救命講習・プール開き・クラス懇談会(0.2.3.4.5歳児)・かもしかクラブ入会式・童謡の日コンサート(5歳児)・おはなし会(1.3歳児)
7	・七夕まつり・夏祭り(3部制・全園児)・尿検査(4.5歳児)・検便(職員) ・お泊り保育(5歳児)・かもしかクラブ・木の実ひろば・おはなし会(2.4歳児)
8	・木の実ひろば(2回)・クラス懇談会(2歳児)
9	・かもしかクラブ・令和4年度入所申し込み申請書配布・おはなし会(0.5歳児) ・運動会リハーサル・第4回木の実こども園運動会(2部制・全園児)・木の実ひろば
10	・令和4年度入園面接日・かもしかクラブ・園外保育一天童運動公園(4.5歳児)・眼科検診・総合訓練・動きづくり教室(4.5歳児)・木の実ひろば
11	・耳鼻科検診(3.4.5歳児)・七五三祝い・おはなし会(1.3歳児)・尿検査(3歳児) ・検便(職員)・動きづくり教室(4.5歳児)・木の実ひろば
12	・クリスマスツリー飾り・クリスマス会(3部制・全園児)・かもしかクラブ・歯科検診・内科検診 ・卒園記念写真・クリスマスお楽しみランチ・動きづくり教室(4.5歳児)・木の実ひろば
1	・ぼたもち作り(4.5歳児)・だんご木飾り・おはなし会(2.4歳児) ・園外保育—鈴川公園そりすべり(4.5歳児)
2	・節分豆まき・クラス懇談会(0.1.5歳児)(3.4歳児中止)・令和4年度入園児説明会・ひな人形飾り
3	・ひな祭り・卒園式・卒園を祝う会・けやき組さんとのお別れ会&お別れ給食 ・茶道教室(5歳児)

(4) 食育

- ・旬の食材を使用した給食提供を心がけ、身近な野菜も育てて収穫することで、常に生長を目にすることができる環境を作りながら、子ども達の興味・関心を引き出すように関わっていった。
- ・保護者が玄関対応で園内に入らないため、展示食スペースを改めて玄関に作り、帰りに親子で会話しながら見ていけるように配慮した。また、コロナ禍で回数は少なかったものの、給食食材の手伝いなどを行い、食育に関する子ども達の写真や旬の野菜の説明などをおたよりに掲示することも行った。

月	子どもの食体験
毎月	たまねぎの皮むき、ピーマンの種取り、しめじほぐしなどの昼食の手伝い
春	野菜の苗植え(中玉トマト・なす・きゅうり・とうもろこし・赤だいこん・すいか・ブロッコリー・オクラ・ピーマン) 落花生植え ふき、たけのこに触れる

夏	夏野菜の収穫・野菜カレー作り
秋	落花生収穫
冬	手作りみそを使ったクッキング（もち米を使ってぼた餅作り・おにぎり・味噌汁）

3. 一時預かり（緊急）事業の取り組み

- ・（緊急）母親の通院、里帰り出産、幼稚園の長期休み等での利用があった。
- ・（非定型）0歳児クラスにて9月から3月まで1名が利用した。

4. 職員研修状況

・コロナ禍により、外部研修の殆どがオンラインを用いた研修となった。外部講師を迎えての講演や、感染状況多い時期は、園内の会議もオンラインを利用し、集まる人数を少人数にするなど工夫して実施した。

・年度後半に予定していた対面での実技に関する研修は、感染状況を鑑みて中止、または次年度に延期とした。

（1）園外研修状況

月	研修名称・出席人数
毎月	・民保連園長会 ・民保連主任・主幹会 ・市合同給食会議 ・民保連3歳未満児研修 ・民保連3歳以上児研修 ・給食研修 ・キャリアアップ研修
5	・民保連総会、研修会（7）
6	・山形県幼稚園等新規採用教員研修（2）・山形県幼稚園等中堅教諭等資質向上研修（2） ・保育所、児童福祉関係新任職員研修（1）・幼稚園免許更新講習（7）
7	・山形県幼稚園等新規採用教員研修（2）
8	・山形県幼稚園等中堅教諭等資質向上研修（2）・リーダー育成研修（1） ・山形県保育士等キャリアアップ研修、乳児保育（1）・東北文教大学・短期大学オープンキャンパス（1）・幼稚園免許更新講習（7）
9	・発達支援基礎養成研修会（1）・保育所職員研修（1）・保育所主任保育職員研修（1）
10	・コミュニケーション力向上研修（1）・公民合同研修会（5）・発達障害支援シリーズ基礎講座（1）・山形県幼稚園等新規採用教員研修（2）
11	・公開保育研究会（1）・地域でみんなで子育て応援団 学習交流会（1）
12	・特別な支援を必要とする子どもの保育を考える（1）
2	・保育研究発表（1）・食育推進研修会（1）

（2）園内研修及び打合せ会議の状況

月	研修・会議
毎月	・三園打合せ会議 ・職員会議 ・カリキュラム検討会 ・保育室環境検討 ・ミーティング(随時) ・調理室ミーティング ・三園教頭主幹打合 ・事例検討会 ・フロアリーダー会議 ・園内研修9. 10. 11. 12月（4. 5歳児の運動遊びについて）1月と2月は中止。
4	・研修リーダー会議・保護者会年間行事検討会 ・園内研修（園庭環境について） ・離乳食勉強会
5	・園内研修（園庭環境について）・親子レクレーション会検討会
6	・心肺蘇生救急法・お泊り保育打ち合わせ ・園内研修（園庭環境作りについて）講師：磯部裕子先生
7	・夏祭り担当者会議
9	・運動会打合せ

10	・園内研修（子どもの造形活動について）講師：矢作鹿乃子先生 ・前期保育総括会議
11	・クリスマス会打ち合わせ ・園内研修（南側園庭ウッドデッキ用すのこ作り）
12	・園内研修（研修報告、グループ討議）
1	・園内研修「わらべうたについて・小道具製作」講師：渡辺裕子先生（延期）
2	・後期保育総括会議
3	・卒園式打ち合わせ会・新クラス会議・新年度会議と環境整備

5. 保護者会活動

- ・3役を中心に、役員さんと一緒にコロナ禍でも実施できる内容の行事を検討し、少人数でできる内容を考えて実施した。2月頃より、感染の拡大が見られてきたため、中止、延期となった行事もあった。

月	実施内容
4	・保護会役員準備委員会
5	・保護者会総会・親子レクリエーション（2部制）
6	・親子みそ作り体験（3．4．5歳児） ・クラス懇談会
7	・夏祭り
8	・クラス懇談会 ・親子行事（0．1歳児） ・運動会役員会
9	・運動会（役員手伝い）
10	・親子芋堀り体験（4．5歳児 雨天中止） ・親子行事（2歳児）
11	・親子行事（3歳児）
12	・クリスマス会（3部制）
1	・クラス懇談会（2歳児）・おやじの会（雪山作り）
2	・クラス懇談会（0．1・5歳児実施、3．4歳児中止） ・ママの会（ヨガ体験 延期） ・保護者会役員会（中間報告を書面にて実施）
3	・会計監査 ・3役会議

6. 危機管理

- ・様々な災害を想定して、避難訓練を毎月実施し、消防署への通報訓練や総合訓練を2回行い、非常時に備えた。今年度は近くの大谷教務所への避難が実施できなかったため、次年度、緊急避難場所としてお願いしている大谷教務所へ避難する訓練を行いたい。
- ・プール開き前に、心肺蘇生・AEDの講習会を実施し、緊急時に慌てず対応できるように確認した。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染状況に合わせて、保護者の送迎を、0歳児は部屋前のウッドデッキ、その他のクラスは玄関までとし、園内での密を避けられるように配慮した。
- ・玄関には、非接触型の体温測定器と足踏み式の消毒器を配置したり、職員の休憩室の座席も向かい合わせにならないよう配置し、アクリル板の設置、黙食を心掛けた。

7. 地域との連携

- ・木の実ひろばの開催もコロナウイルスの感染状況に伴い、実施できた月が限られてはいたが、参加者が入所に繋がったり、参加者同士で誘い合って来てくれる様子も見られ、地域に根付き、参加しやすい集まりとなるよう、今後も考えていきたい。
- ・見学者の多い時期は月2回の開催としたが、実際に園を見学するだけでなく、園児や職員と関わりが持てる時間を作ると、見学だけでは得られない体験もでき、とても好評であったため、次年度も計画していきたい。

8. 年間運営状況統計

(1) 入所状況

(人)

年齢別		月												累計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
0歳児	前年度	5	10	11	10	11	12	12	12	12	12	12	12	131
	現年度	8	8	9	10	10	10	11	11	11	11	11	11	121
1歳児	前年度	11	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	141
	現年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
2歳児	前年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
	現年度	11	11	12	12	12	12	12	11	11	11	11	11	137
3歳児	前年度	12	11	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	141
	現年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
4歳児	前年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
	現年度	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	131
5歳児	前年度	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	131
	現年度	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	144
計	前年度	62	68	70	69	70	71	71	71	71	71	69	69	832
	現年度	65	66	68	69	69	69	70	69	69	69	69	69	821
充足率 (%)	前年度	86	94	97	96	97	99	99	99	99	99	96	96	96
	現年度	90	92	94	96	96	96	97	96	96	96	96	96	95

(2) 特別保育利用状況

(人)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
延長	前年度	101	120	163	155	152	169	186	175	192	177	168	269	2,027
	現年度	196	210	180	202	191	180	222	196	209	180	185	262	2,413
一時 (緊急)	前年度	0	0	0	0	0	0	8	0	1	1	0	0	10
	現年度	14	1	0	0	2	0	4	2	0	1	5	19	48
一時 (非定型)	前年度	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	現年度	0	0	0	0	0	20	20	16	19	17	18	22	132

(3) 育児相談事業

(件)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数	来所	4	3	1	7	6	14	3	4	3	1	2	1	49
	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	4	3	1	7	6	14	3	4	3	1	2	1	49

2021年度 木の実西部保育園事業報告 (案)

1. 総括

園の大きな行事でもある「運動会」と「生活発表会」は、感染症対策として年齢ごとに時間差で行い、両親そろっての参加を認め、共に子どもの成長を喜び確認し合うことができた。この冬は豪雪に見舞われ、職員が日々除雪作業を行ったが追いつかない状況だった。大屋根からの落雪で保育室のほとんどの窓が雪に覆われ、開閉できなくなり、雪の塊でガラスが圧迫され危険な状況と判断し、建設業者を委託し排雪作業を行った。

1月にいったん感染状況が落ち着きを見せたが、新年を迎えると同時に第6波に入り、保護者の送迎は玄関対応に切り替えた。3月の半ばに初めて年長児1名のコロナ感染者が出たことにより、予定していた卒園式は1週間延期され、2日間のクラス閉鎖を行った。

2. 保育実践の取り組み

今年度の保育テーマ『こども園に求められる保育と教育について考える』

～生活や遊びの中から生まれる連続性を踏まえた保育・教育～

(1) 0・1・2歳児の保育

- ① 連続性を踏まえた保育という今年のテーマに沿って、0,1,2歳児としてどんな保育を展開できるかクラスで検討を重ねた。0歳児は前期に引き続き、様々な素材(落ち葉・片栗粉・米粉粘土・クレヨン・雪)を通して感覚遊びを行った。口に入れても安全な素材を選び、個々の興味に沿って無理なく触れさせ、興味や関心の芽を育むことが出来た。
- ② 昨年できなかった未満児クラスの夏祭り、運動会など大きな行事は、クラス毎の入れ替え制で問題なく行うことができた。
- ③ 11月から12月にかけて、クラス懇談会と生活発表会をタイアップして行った。0歳児は普段の生活や保育の場面を動画で撮影し、生活発表会とした。1,2歳児は懇談会が始まる前にホールのステージにて普段楽しんでいる表現遊びをお家の人に見てもらった。
- ④ 普段の保育の様子を、子育て掲示板や写真を用いたドキュメンテーションでこまめに発信し、コロナ禍で保育が見えにくい日常を少しでも補えるよう工夫した。

(2) 3・4・5歳児の保育

- ① そら組(3歳児)は「ポップコーンを育てる」つき組(4歳児)は絵本を題材にした「おばけやしき作り」たいよう組(5歳児)は「コメ作りを通しての稲わらの文化」について取り上げ、一年を通して子どもたちの「なんだろう…どうして?」といった興味や関心を拾い上げ、一緒に考え、アイデアを出すことを大切にしてきた。劇遊びや造形あそびにつなげ、それぞれの学年が年間を通して活動を膨らめることができ、達成感と成長につながった。
- ② 昨年同様、異年齢交流を活発に行った。回を重ねるごとに仲良しグループのコミュニケーションが深まり連帯感も生まれてきた。大きい年齢の子どもが小さい子どもの面倒を見てお世話をする中で、名前も覚え仲良く遊ぶことが多くなっている。今後も継続していきたい。
- ④ 春の登山や夏祭りなど昨年できなかった活動を再開した。お泊り保育は月山志津方面への園外保育と園での宿泊体験を実施した。運動会、生活発表会は入れ替え制や規模を縮小して実施することができた。

(3) 行事実施状況

月	行 事
毎月	・安全点検・避難訓練・身体測定・誕生会・調理室検便
4	・第19回入園式・お花見・畑の種蒔きと苗植え(3,4,5歳児) ・たいよう組クラス懇談会・砂場消毒

5	・お花屋さんごっこ・心肺蘇生救急法講習(園看護師による)・保護者会総会(以上児親子味噌づくり)・畑の種蒔きと苗植え(3,4,5歳児)・園庭のミニ水田田植え(5歳児)
6	・尿検査(4,5歳児)・個人面談(4.5歳児)・歯科検診・プール開き・内科検診 ・職員検便・かもしかクラブ入会式(3,4,5歳児)
7	・七夕まつり・かもしかクラブ・夏祭り&お泊り保育(園内)・眼科検診・残留塩素測定(学校薬剤師)・トウモロコシ,ジャガイモ収穫(3,5歳児)・砂場の消毒
8	・山形市実地監査・プール終了・巡回相談日・飲料水質検査(学校薬剤師)
9	・以上児視力検査・運動会総練習・運動会・さつまいも収穫(4歳児)・ダニの検査(学校薬剤師)・動きづくり教室(4,5歳児)
10	・焼きいもパーティー(4歳児)・かもしかクラブ(3,4,5歳児)・稲刈り(5歳児) ・防災総合訓練・動きづくり教室(4,5歳児)・松倉とし子歌のコンサート
11	・耳鼻科検診(3,4,5歳児)・尿検査(3歳児)・職員検便・動きづくり教室(4,5歳児)・梁の清掃・にじ組生活発表会
12	・イルミネーション点灯式・0歳児クラス懇談会・2,3,4,5歳児生活発表会・内科検診・歯科検診・クリスマス会・卒園記念写真撮影(5歳児)・かもしかクラブ・室内空気検査(二酸化炭素濃度 学校薬剤師)・動きづくり教室(4,5歳児)
1	・餅つき会・だんご木かざり・不審者対応避難訓練・そり滑り(5歳児)
2	・節分・東北文教大保育実習・入園説明会・かもしかクラブ修了式(5歳児)
3	・ひな祭り誕生会・第19回卒園式・床ワックスがけ・お別れ会・新年度会議

(4) 食育

- ・全国の郷土料理、ご当地メニューを給食に取り入れてきた。4,5歳児向けに郷土料理のいわれについて話しをするため日本地図を準備しクラスを回ったところ、とても興味を持って食べる事を楽しみにしていた。
- ・4色栄養素の絵本の読み聞かせを行い、内容をまとめたものや、毎日色分けした献立ボードをランチルームに掲示した。

月	子どもの食体験	
年間	食べたいメニューをクラスで話し合いリクエストして味わう(4,5歳児)	
春	郷土料理	埼玉県：味噌ポテト 岩手県：じゃじゃ麺 鳥取県：スタミナ納豆
		ふきに触れる 筋取り わらびに触れてみる 孟宗に触れる さやいんげんはじ取り そら豆のさや取り さやえんどう筋取り ふきとギンボに触れる 細竹の皮むき 新玉ねぎ皮むき
	郷土料理	沖縄県：人参しりしり・ジュシー 山口県：チキンチキンゴボウ
夏		山形県産さくらんぼを味わう ピーマンの種取り とうもろこしの皮むき 枝豆さやとり かぼちゃの種とり
	郷土料理	長崎県：ちゃんぽん 北海道：いももち
秋		モロヘイヤの葉っぱ取り こんにゃくちぎり かぼちゃの種取り きのかぼくし 菊の花ちらし 菊入浸しを味わう 山形の郷土料理芋煮を味わう 山形県産ラフランスを味わう
	郷土料理	秋田県：きりたんぼ 北海道：いももち 山梨県：ほうとう
		冬至とかぼちゃの由来を知り味わう こんにゃくちぎり 南瓜の種とり 山形県産野菜を使った雑煮を味わう 郷土料理納豆汁を味わう うるいの浸しを味わう もちつき あさつきの酢味噌和えを味わう

3. 一時預かり（緊急・非定型）事業の取り組み

- ・（緊急） 母親の仕事、所用ため、また母親の里帰り出産で受け入れを行った。
- ・（非定型） 1歳児クラスにて年間を通して1名利用。

4. 地域子育て支援拠点事業の取り組み

- ・コロナ感染状況に合わせた利用組数の制限、健康チェックや行動歴の確認を行って開所した。（密を避けるため、午前午後の利用者を5名までとした。）
- ・コロナ禍で大きなイベントは控えたが、少人数での活動(手形アートや季節の製作等)は好評でリピーターに繋がった。
- ・可能な限り出前保育(コミュニティセンター)の依頼にも応じ地域支援を行うことができた。

月	実施状況
毎月	・大きくなったかな（身体測定）・お誕生月の子ども対象「手作りカード」
隔月	・なし
4	・植木鉢にお絵描きしよう・栄養相談の日
5	・離乳食講座・母の日手形足形アート
6	・歯科講座・栄養相談・手作りおもちゃミルク缶ポットン落とし・ゆうこ先生のお話し会
7	・七夕製作・手形アート
8	・あつまれ赤ちゃんたち
9	・敬老の日製作
10	・ゆうこ先生のお話し会・ハロウィンバックを作ろう
11	・離乳食講座・七五三手形アート・秋の自然物を使った製作遊び
12	・ミニクリスマス会・スノードームカード作り
1	・絵馬作り・だんご木飾り
2	・節分豆まき・ひなまつり製作
3	・手作り玩具だるまさんペーパーサート作り・出前保育(西山形コミュニティセンター)

5. 職員研修

(1) 園外研修状況

月	研修名称・出席人数
毎月	・民保連園長会・主任会・看護師研修・給食研修・3歳以上児研修（5月～2月） ・支援センター連絡研修会（6・8・10・2月）・3歳未満児研修（5月～2月）
5	・山形市民間立保育園認定こども園協議会総会(14名)・コミュニケーション向上研修2(2)
6	・幼稚園新規採用研修 zoom(2)・幼稚園中堅教諭等資質向上研修(3) ・令和3年度山形県保育協議会総会(1)・
7	・幼稚園新規採用研修 zoom(2)×2回・幼稚園中堅教諭等資質向上研修(3)×3回
8	・幼稚園中堅教諭等資質向上研修(3)×2回
9	・保育士キャリアアップ研修 eラーニング(6)・キャリアアップ研修対面式(1) ・幼稚園新規採用研修 zoom(2)・幼稚園中堅教諭等資質向上研修 zoom(3)
10	・幼稚園新規採用研修 zoom(2) ・幼稚園中堅教諭等資質向上研修 zoom(3)・保育士キャリアアップ研修対面(1) ・公民合同研修会(2)
11	・幼稚園新規採用研修 zoom(2)
1	・山形市民間立保育園認定こども園協議会総合研修(3)
2	・山形市民間立保育園認定こども園協議会保育研究発表会(1)

(2) 園内研修及び打合せ会議の状況

月	研 修 ・ 会 議
毎月	・ 3園会議（園長・事務）・3園主任会・パート職員打合せ・職員会議 ・フロアーリーダー会議・未満児ミーティング・以上児ミーティング
毎週	・全体ミーティング
4	・入園式打合せ・保護者会総会と保育参観について
5	・かもしかクラブ打合せ・磯部先生 ZOOM 研修(ドキュメンテーションの作り方)
6	・夏祭り打合せ・お泊り保育打合せ
7	・お泊まり保育打合せ・夏祭り打合せ・クラス環境の見直し ・保護者との伝え合い・職員の連携について
8	・運動会打合せと下見・ドキュメンテーション事例検討会
9	・運動会打合せ・動きづくり教室伝達講習会
10	・保育総括前期・生活発表会について打合せ
11	・生活発表会について打合せ・磯部先生との勉強会 ZOOM
12	・生活発表会について・山形市児童相談係との会議
1	・もちつき行事打合せ・だんご木行事打合せ・アレルギー児について共通理解 ・山形市児童相談係と児童相談所との連携会議
2	・感染症対策について・卒園式打ち合わせ・後期総括会議
3	・フロアーリーダー会議・卒園式反省会・新年度会議・修繕計画について

6. 保護者会活動

月	実施内容
4	・保護者会役員投票選挙及び開票・クラス懇談会(5歳児)・保護者会準備委員会
5	・3歳児4歳児クラス懇談会月間
6	・3歳児4歳児クラス懇談会月間
9	・運動会手準備手伝い
11	・保護者会中間報告・ひかり組クラス懇談会
1	・おやじの会奉仕活動そり山作り
3	・保護者会会計監査・三役会議

7. 危機管理

- ・蔓延防止重点措置の基準に合わせ、保護者や業者の園内立ち入りを制限し玄関対応を行った。解除後は感染症対策を行いながら、保護者参加のもと行事を実施した。
- ・行政のコロナ対策補助金を活用し、感染予防のため、携帯型空気清浄機を職員一人一人に配布した。また、足踏み式のアルコール手指消毒器を購入した。
- ・山形警察署と管轄交番(南沼原派出所)の協力のもと、本格的な不審者対応訓練を行った。

8. 地域との連携

- ・昨年度と同じく地域との関わりの自粛が延長されている。その中でも、小松園芸さんや庄司さんの菊つみ体験は今年も協力が得られ実現した。5歳児の稲刈りは、保護者で近隣に田んぼを所有している荒井さんのご厚意で鎌を使った稲刈りを体験させてもらうことができた。またきゅうりセンターJA直売所に5歳児が野菜の苗を買いに出かける事も出来た。今年は小学校との連携を図りたかったが、コロナ禍ということで訪問は実現できなかった。

9. 年間運営状況統計

(1) 入所状況

(人)

年齢別		月												累計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
0歳児	前年度	7	12	13	13	15	16	18	18	20	20	20	20	192
	現年度	12	13	14	14	15	15	15	15	15	15	17	18	178
1歳児	前年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
	現年度	18	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	227
2歳児	前年度	22	22	22	22	22	22	22	22	21	20	20	19	256
	現年度	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	228
3歳児	前年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
	現年度	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	18	18	226
4歳児	前年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
	現年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
5歳児	前年度	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
	現年度	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	288
計	前年度	118	123	124	124	126	127	129	129	130	129	129	128	1,516
	現年度	116	118	119	119	120	120	120	120	120	120	121	122	1,435
充足率 (%)	前年度	98	98	103	99	100	105	107	107	100	107	107	106	103
	現年度	96	98	99	99	100	100	100	100	100	100	101	102	100

(2) 一時預かり等事業利用状況

(人)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
延長	前年度	122	108	171	192	135	180	199	168	198	169	195	213	2,050
	現年度	191	222	276	227	227	264	251	313	313	305	241	286	3,116
一時 (緊急)	前年度	0	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	4
	現年度	11	11	15	2	0	0	2	0	1	0	1	2	45
一時 (非定型)	前年度	0	0	21	19	15	20	22	19	12	27	13	15	183
	現年度	27	10	11	11	11	10	5	28	10	11	10	9	153
支援	前年度	0	15	57	118	165	173	226	144	114	0	87	153	1,252
	現年度	74	128	190	145	134	198	213	237	195	166	140	149	1,969

(3) 育児相談事業

(件)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数	来所	12	16	11	11	12	18	25	20	11	11	17	9	173
	電話	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	12	16	11	11	12	18	25	20	11	11	17	9	173

2021年度 木の実北こども園事業報告 (案)

1. 総括

こども園に移行した今年度、保育と教育を意識した取り組みとして子ども達は遊びを通して様々なことを学んでいることを職員間で確認して、子どもの気づきや疑問に丁寧に関わっていくようにした。その関わりの中で気づいたことや感じたことを、職員間、保護者にも伝えあい、語り合うことで子ども達の園生活の中での学びの姿を共有することが出来たのではないかと思う。しかし、コロナ感染予防に努めながらの生活で、行事の延期や中止、開催方法の変更で保護者が園の取り組みを実際に見る機会がかなり減っていることで、園での子ども達の姿を伝えることの難しさを感じている。来年度はICTも導入されるためICTを利用した伝え方もできるのではないかと検討していきたい。

2. 保育実践の取り組み

(1) 0・1・2歳児の保育

- ①初めての集団経験となる0歳児は家庭に近い生活リズムで、安心して担任、園生活に慣れて過ごすことを心掛けた。自分の要求や思いを分かってもらい、応えてもらうことで心の土台をしっかりと築き、新しい環境や遊びに向かう力となっている。
- ②子どもたちの今の姿や思いをよく見て職員間で話し合い、自ら遊びを見つけて遊びだせる環境を設定していった。イメージの膨らみとともに、発想や子どもの言葉を丁寧に拾いながら一緒に遊ぶことを大切にすることで、友達ともイメージを共有し、ごっこ遊びやなりきり遊びを楽しむ姿があった。
- ③2歳児の自我の芽生えとともに出てくる「いやだ」「もっとする」などの思いのふくらみに対しては成長の一つの姿ととらえて丁寧に思いに沿って関わることで、「大切にされている」実感とともに安心して園生活を過ごすことができ、様々なことに心を寄せて、気づきや学びに繋げていくことができた。

(2) 3・4・5歳児の保育

- ①3歳児は、2階で2歳児と遊びのスペースを共有しながら過ごすため、3歳児ならではの遊びの広がりや保障ができる環境を子どもたちの興味関心に合わせて、設定した。生活の見通しが見えるようになるとともに、友達との関わりが広がり、「一緒に楽しい」気持ちから、園生活の様々なことに意欲的に取り組む姿があった。
- ②4歳児の「どうしてだろう」の疑問からの活動は保育室だけでなく、調理室や家庭にもつながり、子ども達の学びのきっかけとなった。たくさん疑問や気づきがあるクラスであるため、すぐ調べることが出来る図鑑や聞くことが出来る環境を整えることでさらに興味関心が広がり、また次の活動へとつながっていた。
- ③5歳児の就学までの取り組みを、子ども達と一緒に確認しながら行うことができた。特に自分の思いをみんなに伝えることは意識して機会を作っていきながら、自信につながっていった。クラスの集団としての遊びの広がりなどは担任の思いとは異なることもあったが、その時の子ども達の興味や姿に合わせて取り組むことで、年長児としての自信や異年齢児との関わりや広がりにつながった。

(3) 行事实施状況

月	行 事
毎	・安全点検・避難訓練・身体測定・誕生会・調理室検便
4	・第10回入園式・お花見(園内)・畑活動(園内)・役員選出・役員準備委員会・クラス懇談会(5歳児)
5	・畑活動(園内)・富神山登山(5歳児)・保護者会総会、クラス顔合わせ会・個人面談(4歳児)・内科健診
6	・職員検便・尿検査・歯科検診・かもしかクラブ・個人面談(3歳児)・保護者会役員会・味噌作り(5歳児) ・プール開き・クラス懇談会(0~2歳児)・救急法・童謡の日コナト(5歳児)・冷暖房切りかえ作業・実習生受入

7	・七夕祭り・かりん組お泊り保育・眼科健診（3～5歳児）・保護者会3役会・就職がイグニス
8	・夏祭り・プール片づけ・運動会会場下見（県体育館）・インターシップ受け入れ・かもしかクラブ
9	・運動会下見、リハサル(江南体育館)・実習生受け入れ・水質検査、ダニアレルゲン検査(学校薬剤師)
10	・大運動会(3～5歳児・江南体育館)・かもしかクラブ・2022年度入所児面接(市役所)・総合訓練 ・冷暖房切替作業・お話し会(3.5歳児)・クラス懇談会(3.4歳児)・バスハイク(3～5歳児)・造形遊び(4.5歳児)
11	・内科健診・耳鼻科健診・かもしかクラブ・七五三・親子で遊ぼう会(0～2歳児) ・職員インフルエンザ予防接種・職員健康診断・お話し会・クラス懇談会(4, 5歳児)
12	・かもしかクラブ・尿検査・職員検便・クリスマス会(2～5歳児)・歯科健診・巡回相談後期
1	・団子木作り・クラス懇談会(0, 1, 2歳児)・卒園記念写真撮影(延期)
2	・お話し会・節分豆まき・かもしかクラブ修了式・入園説明会・卒園記念写真撮影
3	・ひなまつり誕生会・新クラス会議・入園前健診・卒園式・新年度会議

(4) 食育

- ・今年度は「魚をおいしく食べよう」をテーマに子どもたちが魚に親しめるような献立や食体験を提供した。
- ・コロナ禍で積極的なクッキングはなかなかできなかったが、普段の生活の中で子どもが感じた疑問や気づきに対して、一緒に考えたり、実際に体験できるように環境を整えることで、食に関する関心や知識を豊かにすることができた。

月	子どもの食体験	
春	ふきのすじとり パイナップル解体ショー うど・わらびに触れてみる 孟宗竹にふれる 主食・主菜・副菜を知る 食と体のつながりを学ぶ	食事マナー「姿勢」 味噌作り 3種類(こんぶ、かつお、にぼし)のだしを飲み比べ し、素材を美味しくするための調味料の味の違いを 知る。(砂糖、酢、しょうゆ、塩、味噌)
夏	フィッシュバーガー①(タラフライ・タルタルソースか中濃ソース) ピーマンとパプリカの種取り モロヘイヤ葉とり、かぼちゃ種取り、とうも ろこし皮むき	園内のゴーヤを見て食べてみる スイカポンクッキング(白いすいかの謎を家庭ととも に考える) 収穫した野菜でクッキング 冬瓜と夕顔の違いを見る
秋	フィッシュバーガー②(カジキ竜田揚げ・BBQ ソースか醤油マヨ) さんまの姿焼き、キノコほぐし、菊ちらし 郷土料理クッキング①内陸の芋煮②庄内風芋 煮(クッキング)③秋田の芋煮(給食)	子どもの質問から献立で肉と魚のメニューが ある理由について考える おもしろ献立(たぬきおにぎり、きつねおに ぎり、鬼まんじゅう) 年齢(体格)にあった食事の量について
冬	リクエストメニュー(5歳児) リクエストレシピ(5歳児保護者) 納豆汁のつぶし納豆をみる	雪でシャーベット作り 餅つき(きなこもち)

3. 一時預かり(緊急・非定型)事業の取り組み

- ・(緊急)は、幼稚園の長期休みや里帰り出産、育児疲れや通院などの利用で、同一の子どもが繰り返し利用することが多く、昨年度より多くの利用があった。
- ・(非定型)は、問い合わせがなく利用がなかった。

4. 地域子育て支援拠点事業の取り組み

- ・コロナ感染予防に留意しながら、利用しやすいように事前予約ではなく、当日利用を中心にした。利用が0歳児が多いことから、0歳児の座談会を毎月行い、その月毎のテーマに興味がある家庭が参加していた。使った玩具をすぐに消毒できる除菌ボックスを設置し、感染予防に努めながら安心して利用してもらえるように心がけた。

月	実施状況		
毎	・身体測定・支援センター便り配布		
4	・座談会「ベビーの日」(卒乳)	10	・座談会「ベビーの日」(おもちゃ)
5	・座談会「ベビーの日」(離乳食)		・2階ホールで遊ぼう(毎日開放)
6	・座談会「ベビーの日」(間食)		・育児講座「手作りおもちゃを作ろう」
7	・座談会「ベビーの日」(睡眠)	11	・座談会「ベビーの日」(職場復帰)
8	・座談会「ベビーの日」(生活リズム)	12	・座談会「ベビーの日」(発熱)
	・育児講座「手作りおもちゃを作ろう」	1	・座談会「ベビーの日」(保育所入所)
9	・座談会「ベビーの日」(発語)	2	・座談会「ベビーの日」(保育所入所)
	・2階ホールで遊ぼう(毎日開放)	3	・座談会「ベビーの日」 メディアとどう向き合っている？
	・製作「敬老の日プレゼント」		

5. 職員研修

- ・コロナの感染状況に応じて、参集とオンラインで研修を進めてきた。オンライン研修も定着し、県外の講師の研修を受けることができるメリットも実感できた。
- ・昨年度より行っている若手の園内研修に加えて、今年度は中堅職員もグループ毎に研修をすることで、園内で保育や子どもについて語り合うことでスキルアップを図ることができた。
- ・子どもたちの造形活動を支えるために、職員も造形を学びたいという希望もあり、アトリエスマイルの犬飼とも氏に研修を依頼し職員と子どもたちがワークショップを行い、造形の楽しさや子どもへの提供について学ぶことが出来た。

(1) 園外研修状況

月	研修名称・出席人数
毎月	・民保連園長会(参集型、オンライン)・支援センター連絡研修会 ・主任会・看護師研修・給食研修・3歳以上児研修3歳未満児研修(参集型、オンライン)
5	・民保連総会講演会(2)・県保育協議会総会研修(1)・カウンセリングゼミナール(1)
6	・コミュニケーション向上力研修2(1)・保育所、児童福祉関係新任職員研修(1)・山形県幼稚園等新規採用職員研修(2)・山形県幼稚園等中堅教諭資質向上研修(2)
7	・社会福祉専門講座施設内の感染予防対策(1)・幼稚園教育課程山形県研究協議会(1)・山形県幼稚園等新規採用職員研修(2)・人材定着支援研修(1)・山形県保育協議会総会(1)・村山地区特別支援教育研修会(1)
8	・リーダー育成研修(1)・山形県幼稚園等中堅教諭資質向上研修(2)・キャリアアップ研修(2)
9	・養成校との連絡研修会(1)・安田式体育遊び研修会(5)・山形県幼稚園等新規採用職員研修(2)・保育所職員研修(1)・スーパービジョン研修(1)・キャリアアップ研修(2)
10	・山形県幼稚園等新規採用職員研修(2)・保育所主任保育職員研修(1)・現場とつくる子ども主体の保育ワークショップ(3)・公民合同研修(2)・キャリアアップ研修オンライン(6)
11	・山形県保育のつどい(4)・キャリアアップ研修オンライン(2)・発達支援基礎養成研修(1)・保育所主任保育職員研修(1)・山形県幼稚園等新規採用職員研修(2)
12	特別な支援を必要とする子どもの保育を考える(1)幼児教育研究センター保育実践研究会(1)
1	みんなで子育て応援団研修会(3)民保連総合研修(7)
2	食育推進研修会(1)

(2) 園内研修及び打合せ会議の状況

月	研修・会議
毎月	・3園会議(園長・事務)・3園教頭会・職員会議・パート職員打合せ ・フロアミーティング・フロアリーダー会議・若手職員研修

毎週	・全体ミーティング
4	・入園式打ち合わせ・カリキュラム検討会・役員準備委員会
5	・カリキュラム検討会・クラス顔合わせ会打合せ・園内研修打ち合わせ・わらべ歌研修
6	・夏祭り打合せ(職員)・お泊り保育打合せ①、下見・カリキュラム検討会・心肺蘇生法訓練
7	・お泊り保育打合せ②・職員夏祭り打合せ・カリキュラム検討会・
8	・カリキュラム検討会・運動会打ち合わせ・職員造形研修
9	・運動会会場下見打合せ・研修報告会・カリキュラム検討会・前期総括打ち合わせ
10	・運動会前日準備・前期総括会議・カリキュラム検討会・中堅職員グループ研修
11	・クリスマス部会企画会議・1～3年目職員研修・渡邊裕子先生とのわらべうた勉強会
12	・クリスマス会全体打合せと反省会・カリキュラム検討会・研修報告・中堅職員グループ研修
1	・クラス懇談会について(未満児)・中堅職員グループ研修
2	・後期総括会議・中堅職員グループ研修
3	・新年度クラス会議・新年度会議・中堅職員グループ研修

6. 保護者会活動

- ・感染予防に努めながらも、保護者会総会、クラス顔合わせ会は3部制にして、密を避け時間を短くして行うことができた。
- ・夏祭りも、2部制にして飲食はしないようにして親子で参加することができた。保護者会の役員の当日の手伝いはなかったものの、忍びインジャーを探せとして、有志の保護者に事前に写真を撮ってもらい、当日のゲームの一つとして子どもたちを楽しんでもらった。

月	実施内容
4	・役員準備委員会
5	・保護者会総会、クラス顔合わせ会・個人面談(4歳児)・クラス懇談会(5歳児)
6	・役員会(今後の行事について)・クラス懇談会(0～2歳児)・個人面談(3歳児)
7	・保護者会3役会
8	・夏祭り(親子)
10	・運動会(3～5歳児)
11	・0, 1, 2歳児親子ふれあい遊びの会・クラス懇談会(4, 5歳児)
12	・クリスマス会(2～5歳児)・クリスマス誕生会(サンタ登場)
1	・クラス懇談会(2歳児)
3	・市保連たより発行・会計監査・かりん組卒園を祝う会

7. 危機管理

- ・引き続き、コロナ感染予防に努めながらの生活となり、日々変化するコロナの情報をこまめに職員と共有し、保護者にも書面やメールなどで対応をタイムリーに伝えることで大きな感染拡大には至らなかった。ワクチン接種ができない未就園児の感染拡大が広がってきた時期には、クラスの交流を控えたり、不特定の関わりとならないように工夫するなど感染予防に努めた。
- ・アレルギー児の除去食対応をしている中で、アレルギー反応とみられる症状が複数回あり、アレルギー児の食事をどのように対応していくか検討を重ねた。

8. 地域との連携

- ・地域のふれあいサロンとの交流は感染状況に合わせて、子どもたちがサロンを訪問したり、絵を取りにきていただいたりして、1年間交流することができた。子どもたちの絵を見るのが楽しみにしているという地域の方の声も聞き、嬉しく感じている。

9. 年間運営状況統計

(1) 入所状況

(人)

年 齢 別		月												累 計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
0歳児	前年度	7	10	9	9	11	12	13	14	14	15	17	18	149
	現年度	8	12	12	13	14	15	15	16	16	17	17	17	172
1歳児	前年度	19	20	20	20	20	19	19	19	18	18	18	18	228
	現年度	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	211
2歳児	前年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
	現年度	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17	17	213
3歳児	前年度	23	23	23	23	22	22	22	21	21	21	21	21	263
	現年度	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	240
4歳児	前年度	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
	現年度	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
5歳児	前年度	24	24	24	24	24	24	24	24	25	25	25	25	292
	現年度	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	276
計	前年度	116	120	119	119	120	120	121	121	121	122	124	125	1,448
	現年度	109	113	113	114	115	116	116	116	116	116	116	116	1,376
充足率 (%)	前年度	97	100	99	99	100	100	101	101	101	102	103	104	101
	現年度	91	94	94	95	96	97	97	97	97	97	97	97	96

(2) 一時預かり等事業利用状況

(人)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
延長	前年度	115	137	215	190	145	169	176	187	195	177	152	216	2,074
	現年度	115	83	100	85	78	111	120	127	103	126	118	139	1,305
一時 (緊急)	前年度	0	0	0	1	0	11	0	0	0	0	0	0	12
	現年度	0	0	0	8	10	0	3	9	7	22	13	35	107
一時 (非定型)	前年度	0	0	0	0	0	0	21	19	19	0	18	20	97
	現年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支援	前年度	0	27	72	124	88	121	119	114	71	0	44	115	895
	現年度	46	46	70	60	73	101	114	86	77	105	83	91	952

(3) 育児相談事業

(件)

		月												計
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
件数	来所	10	7	15	13	9	23	21	13	9	19	10	5	154
	電話	0	0	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	10	7	15	13	9	23	21	13	9	19	10	5	154